

令和元年度 第2回加賀市男女共同参画審議会 会議録

1. 開催日時 令和元年10月28日(月)14時00分～15時20分
2. 開催場所 加賀市役所2階201会議室
3. 出席者 〈審議会委員〉(50音順)15名中8名出席
上木敏子、尾島恭子、金津美紀、新保綾子、西山佳孝、宮下和彦、
宮永都、横山貴美子
〈委任状提出委員〉(50音順)5名
河上幸介、西田晴美、堀口康純、俣本佐織、南出利之
〈事務局職員〉
荒谷市民生活部長、山村地域づくり推進課長、
藏男女共同参画担当課長補佐
4. 傍聴者 なし
5. 議事概要 (1)令和2年度市民意識調査について
(2)町内会への女性登用の呼びかけについて(報告)
6. 開 会
会 長 挨拶
事務局 15名中8名の出席があり、審議会規則第4条第2項に基づき審議会が
成立していることを報告
議事録の公開について説明
事務局 審議会規則第4条の規定により、ここからの議事進行は、会長にお願い
する。
会 長 議題(1)「令和2年度市民意識調査について」事務局から説明を。
事務局 資料に沿って説明
会 長 専門部会での原案を今日の審議会で審議の上確定することとなるので、
内容についてご意見を伺いたい。
会 長 調査対象について、「前回調査時の回答率を基に」というのは、他の調
査においては見られない。市の傾向を見るのであれば、市の人口構成に
基づいた形が望ましいのではないかと思うがいかがか。
委 員 回答率は前回実施のもので、いつも同じではないから、それを基にとい
うのは納得できない部分が出てくる。

- 委員 統計として正しいやり方ではないので、結果公表の時に工夫して世代別の傾向を見せるようにしてはどうか。
- 会長 全体と世代別の両方の結果を出した上で世代別の結果を強調するということかと思う。
抽出数を前回の2倍の2,000人にして、割合は市の人口構成に合わせた数にすることでよいか。
- 一同 異議なし
- 委員 アンケート調査票の確認に移る。
- 委員 問3の設問に、家庭における仕事の「役割」とあるが、選択肢と同じく「担当」とすべきではないか。
- 一同 異議なし
- 委員 夫の担当、妻の担当という書き方では一方に偏りすぎて、回答しにくいように思う。特に2～3割の時に迷う。
- 委員 「担当は主にどうなっていますか」という設問ならどうか。
- 委員 横棒にして当てはまる位置に印をつけてもらう方法もあると思うが。
- 委員 アンケートは何割だろうかと考えるのではなく、直感で書けないと難しいのではないか。
- 会長 「どちらかといえば」という文言があるので、これをもう少し大きくすることでどうか。
- 一同 異議なし
- 委員 問7-1で最近では管理職になると負担が大きくなるといへんなので断るといふこともあるようだが、これは「役職につくことが面倒だから」ということになるのか。
- 会長 役職につくことが面倒だから」のほか「その他」を選び具体的に「仕事が増えるから」と回答することもあると思う。
- 委員 女性が結婚、出産、育児で仕事を辞めるというのをテレビで見るが、そういう設問は必要ないのか。
- 委員 問4がそれにあたるのではないか。
- 会長 問6、7は管理職につくことについて聞いており、まずは問4、5で全体的なことを聞いている。問13で仕事と家庭の両立を聞いているのでそこで意見を書いてもらうことも可能かと思う。

- 会 長 前回あった自主防災・災害援助活動についての項目を削除したがよろしいか。
- 一 同 異議なし
- 委 員 問 7、9 については男女ともに聞いていると思うが、その理由を選ぶ際には女性が答えるものが多いようで、女性に聞いているように感じるがいかがか。
- 会 長 「役職につくための知識や経験がないから」「役職につくことが面倒だから」の選択肢が上にくるように順番を変える方法もあるかと思う。
- 委 員 若い人はこの表現でも女性を対象にしているとは思わないと思う。
- 会 長 問 7-1、9-1 では上から「役職につくための知識や経験がないから」「役職につくことが面倒だから」「家族の協力が得られないから」「家事・育児や介護に支障が出るから」「その他」の順にすることでよいか。
- 一 同 異議なし
- 委 員 アンケートには依頼文を付けて出すと思うがどのようなものか。前はどのようなものだったのか。
- 事務局 まだ決めてはいない。
- 会 長 次回の審議会で示してもらえればよいと思う。
- 委 員 ワークライフバランスを聞いている問 13 は事務職の人に聞いている感じがしたが。
- 会 長 確かに、男女共同参画とワークライフバランスがイコールということに違和感を持つ場合があるかもしれないが、男女共同参画の目的自体が男性も女性もワークライフバランスが実現された社会を目指しているのでご理解いただきたい。
- 委 員 問 10 に「この 1 年間」とあるが、なぜか。
- 会 長 1 年が良いか悪いかは別として、傾向として以前よりも増えているか減っているかの変化が関係してくるため、昔々見たというのではなく、前回の調査と比べてどうかということになると思う。しかし、調査の間隔が 1 年ではないので、1 年でなくてもよいと思う。
- 委 員 ここ数年でどうか。あるいは、選択肢に「この 1 年に」とか「ここ数年間に」とか「前はあったが今はない」とかを入れることも考えられるのでは。

- 会 長 「この1年間」という言葉を5年、数年、最近などに変えるということになるかと思うが。
- 委 員 数年くらいが適当ではないか。
- 事務局 数年を2～3年ととらえるか、5～6年ととらえるか個人差があると思われるが。
- 会 長 5年程度とするとなぜ5年なのかという疑問が出てくる。
- 事務局 依頼文に調査が平成27年度以来という文言があれば5年というのを理解しやすいのではないか。「数年(5年程度)」として依頼文に入れたいと思う。
- 会 長 では、「この1年」を「数年(5年程度)」とすることでよいか。
- 一 同 異議なし
- 会 長 ほかにご意見がなければこの内容で来年度調査を実施することとするがいかがか。
- 一 同 異議なし
- 会 長 議題(2)「町内会への女性登用の呼びかけについて」事務局から説明を。
- 事務局 資料に沿って説明
- 会 長 ご意見等ないか。
- 委 員 町内会の役員とはどういう範囲を指しどのような役割をいうのか。
- 会 長 確かに具体的な役割が書いてあると分かりやすい。
- 事務局 町内によってとらえ方が違うので、自由でよいのでは。
- 委 員 この取り組みは良いことだと思うが、このグラフを出すことに効果があるのか。目標値の半分以下の数字を見た時に諦めてしまう危険性もあると思う。女性を登用する具体的な数値を示しお願いしなければ変わらないのではないか。
- 委 員 このチラシを全家庭が見られるといいと思う。
- 事務局 お願い文は各区長宛だが、チラシは町内で回覧する方法を予定している。
- 委 員 広報かがのほうが効果的なのでは。
- 委 員 回覧版を見ない家庭や、回さないでほしいという家庭もある。
- 事務局 広報かがではスペースに限りがあり、小さいものでは気づいてもらえないジレンマがある。
- 委 員 これを全家庭に配っても自分事として思えないのではないか。増やして

いくためには各町に現状プラス1というような具体的な目標をあげていかなければ難しいのではないかと。

事務局 チラシに「実際に活動している妻の名前に変えることから始めませんか」とあるが、そうすれば正確なものが出てくるのではないかと思う。

委員 お題目ではなく具体的に語りかけるものでないと動かないと思う。

会長 11月はこのまま出すことになるのか。

事務局 今年度はこのままで、来年度以降のアプローチの方法を考えていきたい。

委員 市の意図を伝える方法を考えていただきたい。効果が見られないグラフを見せるよりも、効果が出た例を出すほうが良い。

委員 誰に訴えるのか。今は男性も誰もやりたくないが、家庭で妻が頑張っている分、男も頑張らねばというイメージを持っているのでは。女性に役員を頼むとなるとこの上押し付けるのかということになりかねない。

会長 今年度は進んでいるので、来年度の計画を検討する機会にご意見をいただきたい。

委員 目標値の35パーセントはどこから出た数字か。

事務局 男女共同参画プランに載っている数字である。

会長 県のものから機械的に取ったもの。

委員 目標値があることは伝えたほうがよいと思う。

委員 高すぎるように思う。

会長 高すぎるとやる気がなくなる。プランの見直しの時に下げようかとの意見も出たが、そのままになったと思う。

ほかにご意見がなければ審議を終了する。

あとは事務局にお任せする。

事務局 最後に市民生活部長よりご挨拶申し上げます。

部長 挨拶

以上（閉会 15:20）